

【2月21日（水）】横浜国立大学キャンパスツアー、表敬訪問

来日して早1週間、初めて国大キャンパスへやってきました。午前中、留学生センターで、本学における留学生の受入状況等の説明を受け、施設等見学した後、キャリアサポートルームでは、就職支援について話を聞き、揃えてある資料等に目を通していました。

この後、先生方は事務局会議室で本学の学長、副学長、理事、部局長らと会談を行い、今回のセミナーについての感想や、今後の交流の推進について会談し、昼食会の席に移ってからも、話が弾みました。

その間学生達は総合情報処理センターの見学を行い、本学の情報ネットワークの説明を受けました。その後の昼食では、本学の学生と同じように、大学生協食堂シェルシュを利用しましたが、種類豊富なお総菜を自由に選べる事がとても気に入った様子でした。



21) キャリアサポートルームも興味津々



22) 表敬訪問を終えて記念写真



23) 日本の食事も美味しいと好評でした

午後からは、3つのプログラム別れて行動し、鎌倉附属小学校の視察グループは、生徒達と中国語のみでコミュニケーションを取ることに挑戦しました。最初は違和感があったものの、だんだん言葉は通じなくても、気持ちが通じるようになるという体験ができたそうで、このことは、最終日の報告会でも素敵な経験として話されました。



24) すっかりうち解けた鎌小の生徒と一緒に

2つめのグループは川崎市まちづくり局を訪問し、主に川崎駅前の再開発について話を聞きました。川崎市の職員の方が、上海の都市開発について興味をもっておられ、この訪問を機会に新しい交流の可能性が生まれました。

3つめのグループは、教育人間科学部のCALL教室で、村田教授からインターネットを使った、日本についての情報検索の方



法についての講義を受けました。今まで知らなかった有益なサイトを沢山紹介してもらい、日本についての研究が捗ると好評をえました。

25) 実際にサイトを見ながらの講義

また、夕方からは滞在先のホテルコスモ横浜において、国際社会科学研究科主催の国際交流特別セミナーが開催され、清水雅貴氏と其田茂樹氏から「水源環境保全と地方環境税ー神奈川県における取組を中心に」の発表があり、他県に位置する水源の環境を守るために新設された地方環境税に興味が集中しました。色々な視点から沢山の質問が飛び出し、地方財政の専門家でもある金澤研究科長から補足説明が加えられる等、2時間が短いと感じられるほど活発なセミナーとなりました。その後、渡辺副学長も駆けつけて、同ホテルでレセプションが開かれ積極的な交流が行われました。



26) 水道水が飲める事に驚いていた中国一行にとっては、とても興味深いテーマのセミナーとなりました



27) セミナーの後は、レセプションで交流を深めました